

2018 年度事業報告

理事長 田中 一雄

●次なる変化に向けた胎動

JIDAは日本唯一の全国的なインダストリアルデザイナー団体として65年を超える活動を続けてきた。センター活動の各委員会においては、「世界の中の日本のJIDA」としてインダストリアルデザイン界全体を見据えて活動している。一方、各地域のエリア及びブロック活動においては、職能団体として「地域ネットワーク」に根差した活動を続けて来た。こうした両面性は、公益社団法人としての価値と同時に、職能性に根差した共益的な価値でもある。実態的にはこの二つの価値が、相互に関連しつつ活動しているが、常に協会活動全体を客観化しつつ行動することが必要であると考えている。

協会の収支は活動の基盤であり、過去に黒字化できなかった年度もあったが、2018年度は会員各位のご協力により、黒字化を達成することが出来た。以下に2018年度の各委員会・ブロック活動を報告する。

<内務委員会>

協会が目的としているところのインダストリアルデザインの普及啓発事業を更に範囲を広げる目的で受託事業を強化する方針を出していた。その成果として海外企業からの受託事業が複数実施されたが、それらの事業運営に於ける公正性、コンプライアンス視点からのサポートに注力した。また、理事定数の変更やそれに伴う役員選挙規則改定が大きな出来事としてあった。

<広報委員会>

昨年の大幅な公式Webサイトの大幅なリニューアルを受け、その後の安定的な広報活動に注力してきた。特に、公式Webサイト(<http://www.jida.or.jp>)の運営、JIDA DESIGNERS SHOPの設置運営を行い、会員へのサービス向上に努めた。

<渉外委員会>

昨年に引き続き、多様な渉外交流活動が活発に行われた。特に、中国を中心とした受託事業や、地方自治体(東大阪市)と連携強化にも努め、高い評価を得ることができた。また経年的に実施してきた国際学生ワークショップであるISW事業を教育委員会に移管する他、WDO中心とした国際デザインネットワークの充実にも積極的に活動してきた。

<ビジョン委員会>

「JIDA DM セレクション 20 周年記念展 PREMIUM-10 展」の開催、並びに「JIDA フォーラム／インダストリアルデザインのプロフェッショナリズム」の開催を中心としてDM委員会と連携して活動した。今後は、一定の役割を終えたものとして、新たな活動を検討していく。

<職能委員会>

インダストリアルデザイナーの今日的定義化と、その役割認知および地位向上、デザイン業の事業環境整備を目指して活動している。構成としてはデザイナー業務を支援する「職能部会」と、PD検定を推進してきた「資格部会」の二本柱として活動している。本委員会においては、昨年同様PD検定活動の更なる推進が課題となっており、人的、財務的体制の強化が求められる。

<スタンダード委員会>

過年度に引き続き、セミナー部会では、各種素材や加工技術に関する勉強会を5回実施した。また、サンプル部会では、スタンダードサンプルやキッズデザインツールなどの販売を継続的に実施しているが、本年度においては仕入れ費用が予算を上回る結果となってしまった。また、産総研と消防庁との共同研究活動を引き続き進めた他、日本デザイン学会との連携強化に努めた。

<デザインミュージアム委員会>

ミュージアム事業は今迄に収蔵した製品を年間を通じて東京、長野、大阪にて巡回展、企画展、常設展を実施した。セレクション事業では後世に残すべき優れた製品を収集し、デザインの普及啓発活動を行う事を主に、デザイン図録の発行と毎年1月に開催される AXIS ギャラリーでの展覧会を開催した。本年は特に20周年の記念事業として時代を反映させた製品を選出し「PREMIUM-10」特別記念展を開催した。

<教育委員会>

渉外委員会より引き継がれた、ADA(Asia Designers Assembly) 国際学生デザインワークショップを、韓国・大邱市「慶北デザインセンター (DGDC)」で開催した。また、関東地域と関西地域の二カ所において留学生交流会を実施し、国際デザイン教育の振興に努めた。

<インハウス委員会>

インハウス委員会は、協会全体として賛助会員企業への存在感強化と、価値提供の推進を目指して活動している。中心となるインハウス女性デザイナー研究会は第32期を迎え、本年も充実した活動が行われた。その他、「新興国デザイン思考セミナー」や「欧州カーデザイン NOW」などを開催し、多数の参加を得ることができた。

<東エリア>

最大規模のエリアとしてセンター活動とも連携し、多様なイベント・セミナー運営など活発な活動を行っている。昨年度よりユニット制を敷き、ブロック長のもと十名の運営委員メンバーが研究会活動全体を支援する体制として活動している。主な活動としては「TASKI デザイントーク・デザインビジネス TASK 交流会・ギフトショー参加・Next Eco Design 展など」その他センター活動と連携した活動を行った。

<中エリア>

本年も昨年に引き続き、セミナー、ワークショップ、サロン、交流会を開催するとともに、デザイン大学卒業制作展を訪問し表彰活動を行った。特に、北陸ブロックにおいては、積極的なセミナー展開を実施し会員強化に努めている。

<西エリア>

関西ブロックにおいても、センター委員会と同様に、総務・広報・ミュージアム・スタンダード・教育・職能など委員会を中心に、数多くのセミナー、フォーラム、ワークショップ、サロン、研究会、交流会、見学会などが開催された。西日本ブロックでは、対象地域が広範囲に亘るとともに、会員の高齢化が進む中、引き続き積極的な交流活動を展開した。